

今年の年間標語

健康・安全 スクラム組めば みんなで実現 ゼロ災職場

◇広島県産業安全衛生大会が開催されました◇

11月12日に広島市のJMSアステールプラザ大ホールにおいて令和元年度（第45回）広島県産業安全衛生大会が開催されました。

この大会は、3部構成となっています。

第1部の開会式・表彰式では、三原支部のアトム株式会社 宮畑慎一様に功労賞、三井金属鉱業株式会社竹原製煉所に事業場賞が、広島県労働基準協会 高場会長より授与されました。おめでとうございます。



【会長賞受賞者記念撮影】

第2部の講演・事例発表では広島労働局労働基準部 法宗 健康安全課長が『最近の安全衛生行政について』と題

して、広島県内での労働災害発生原因のワースト3は転倒、墜落・転落、動作の反動であること。全国統計では若年労働者層と高齢労働者層で災害発生率（千人率）が高い傾向にあり、高齢労働者層になるほど休業見込日数も長くなっていることなどが報告されました。引き続き、株式会社ジェイアール西日本総合ビルサービスより『災害復旧対応における熱中症対策について』事例発表がありました。炎天下での災害復旧工事において熱中症の発生が防止できた具体的な対策等について報告がありました。

第3部の特別講演では株式会社ライフ・アンド・シード代表取締役、組織改革コンサルタント・人材開発トレーナー、株式会社エナジーソースアソシエイト・パートナー 中野美加 講師が『スシローを変えた“働き方改革”』～「こんなの無理！」を「楽しい・やりがい・充実感」にする3つの秘訣～と題して講演をされました。安全衛生を「面倒！大変！」から「楽しい・やりがい」にする3つの秘訣として、上司が部下に興味を持つこと「1. ラブベース（質の良いモチベーション）を知る・生かす。2. 聴く力（態度と姿勢）を持つ。3. 詰問（何で・どうして）ではなく、エンパワメント質問（何があったの）で改善する意欲を持つ。」により部下の自発的な働きが生まれ、挑戦力となって組織の生産性の向上につながる人材育成が大切であると話され、事例の紹介と大会参加者との対話も行われました。

参加いただきました皆様、ありがとうございました。

◇その他◇

【三原支部の行事】

第2回三原支部幹事会	1月24日	三原市中央公民館
分会・部会担当者会議	1月24日	三原市中央公民館